大　乗　持経寺報

令和６年３月号
第１５号

住　職　指　導

「弥生」の時節になりました。今月は桜の花も満開に咲き誇り、良い季節となります。世間でも今月は年度末に当たり、一年の締めくくりと新年度に向かって準備する日々になります。

寺院においても今年の折伏誓願を達成するために、年初から実施している百日間の唱題行も今月で終盤を迎えます。この時に当たり、講中の皆様には、今までの唱題で積み重ねた福徳をもって「今月こそは必ず慈悲の折伏を成就するぞ！」と心に決めて、精一杯の折伏に頑張って参りましょう。

御法主上人猊下様は、折伏実践に際して「相手の人格を否定しているのではなくして、邪義邪宗の謗法を破折しているのであります。したがって、あくまでも相手を思う慈悲の一念からの言葉でなければならず、相手もそれを感じ、入信に至ることができるということであります。」と仰せです。

兎に角、講中の皆様には、相手の幸せを願う慈悲の心で折伏実践を宜しくお願いいたします。

今月も講中一同して唱題を重ね、明るく、元気で、幸せに満ち溢れた日々にして参りましょう。以上

『役　員　挨　拶』　副講頭・会計部長　小枝　行子

折伏前進の年、早速嬉しい事が起こりました。

かねてより御祈念していた講員さんの入仏式で、ご主人の入信が叶ったことです。

昨年１２月、内得信仰であった御婦人から、ご主人の許可を貰ったので御本尊様を御安置したいとの申し出がありました。今年１月に入り、トントン拍子で準備が整い入仏式の日となりました。当日、車椅子生活のご主人に入信を勧めるのは今しかないというタイミングで、御住職様からも勧めていただき、素直に入信を了承されました。大感激でした。

次は娘さんの御一家の法統相続目指して御祈念して参ります。

『節分会に参詣して』　副会計部長　北山　富美江

辰年生まれの私は、今年の節分会は例年とは少し違った思いで参加させていただきました。これまで元気にやってこれたことをしみじみと感じながら、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これからも「福はうち」でがんばりたいと思っています。

『節分会に参詣して』　警備部長　馬田　利則

今年の節分会には、家族３名揃って参詣いたしました。

御住職様より節分や厄年のお話があり「厄も唱題によって乗り越えることができる。」との御指導通りに、私も信心根本で「厄を幸いに転じ、変毒為薬する。」信心に努めていこうと決意いたしました。

また正宗では、鬼子母神や十羅刹女などは、法華経の会座に連なり、法華経の行者を守護する善鬼となった為に、豆まきに時には「鬼は外とは言わない。」と教えていただきました。

最後に参詣者全員で豆まきをし、帰りに「福茶」をいただきました。これからも家族揃って御信心に頑張って参ります。

『興師会に参詣して』　婦人部　芹沢　紀世美

私は興師会に参加して、日興上人様の御鴻恩に御報恩謝徳申し上げるとともに、これからも広宣流布を目指し、僧俗一致して前進できるよう、頑張りたいと思います。

この興師会に一人でも多く参詣者が増えることを心から願っています。

『興師会に参詣して』　青年部　芹沢　美郷

できる時に身の供養をさせていただこう！と心掛け、頼まれた時にはお給仕もご献膳もやらせていただいています。今回は「芹お講」だったので、お講後に、芹のおにぎりとお味噌汁、信徒さんが御供養された漬物が出されました。奥様のお味噌汁はとても美味しくて、ついおかわりをしてしまいます。御供養されたお漬物も美味しくて、終始みなさん笑顔でした。後片付けの時も、役割は決まっていなかったものの、みんな率先して色んな所へ手伝いにいき、あっという間に終わりました。無意識であっても協力しあい、一つの大切な行事を終えられた事は、何よりも自分や他の人達の身の供養に繋がったと思います。

『興師会に参詣して』　婦人部　益田葉子

今年は「子供達とたくさん身の供養ができますように」と、御祈念していたところ、息子と共に興師会のお膳のお手伝いができることになりました。息子はお膳のお片付けとおにぎりを作っていました。横で私は洗い物をして、新鮮で楽しい体験をさせていただきました。これからも家族揃って御信心に頑張って行きたいと思いました。

『興師会に参詣して』　青年部　益田稔貴

今回お手伝いをさせて頂いて、皆さんがずっと笑顔で楽しそうにお膳作りをしていたので、皆で素晴らしい身の供養ができたと感じました。又、今回のお膳やおにぎりに使ったお新香、昆布巻き、お米等の食材は、皆様からの御供養だと言う事を知って、多くの皆さんの気持ちが繋がっているのだと実感しました。これからも自分に出来る事を精一杯御奉公して行きたいです。

『興師会に参詣して』　女子部長　濱之上　真美

日蓮大聖人の正法正義を堅く守りぬかれ、正しく伝えてくださった日興上人様に対し奉り、心から御報恩申し上げました。御法話で「日興上人様は芹を愛好されていたことから、御助番の御僧侶方は芹を摘みに川を寒中水泳し、御宝前に御供えしていた。」と伺い、想像し震えました。

法要後は、芹のおむすびとお味噌汁をお振舞いいただき、心から温まりました。

『宗祖日蓮大聖人御誕生会に参詣して』　婦人部　設楽　法子

『折伏前進』の年を迎え、邪教により目を覆いたくなるような惨酷な日常が繰り返されている現実の中で、日蓮大聖人様の御誕生会に参詣させて頂きました。私たちの使命は唯一、正法を知らない人々を折伏し、共に幸せになることです。これからも自分らしく六根清浄させて頂きながら、一日一日を着実に歩み、人生にきちんと足跡を残しつつ生きていく事を新たに決意致しました。

『宗祖日蓮大聖人御誕生会に参詣して』　婦人部　大倉　敬子

今回の御誕生会は平日でしたが、多くの方が参詣されていました。私事ですが、２２年前の２月１６日は、私が入信させて頂いた日でもあります。そんな日に参詣させて頂き、御住職様と参詣された皆様と共に読経、唱題をし、有り難いお説法を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。